

お知らせ

6月25日に、第2回定例研究会を開催しました。

6月25日に、第2回定例研究会を開催しました。当研究所の丸山健夫研究員を講師に、「間の謎を解く一間抜けは本当に間抜けなのか？」というタイトルで、いろいろな「間」について講演いただきました。「拍手の間」という項目では実際に皆で拍手をしてみたり、また全体を通じてお客様からのご意見・ご質問も多く出たりと、いつもに増して活発にご参加いただけた会となりました。「言葉における間」のところで、古い看板などの横書きの文字が右から書かれていることについてのお話が出ました。あれは横書きなのではなく、「縦書きで、ただ1行が1文字ずつであるだけ」なのですね！次回、第3回定例研究会は、7月17日に行います。事前のお申し込みは不要です。詳細はこちらをごらんください。（※いつもとは違い、日曜日の開催となりますのでご注意ください。）落語家 三代目 桂歌之助先生をお迎えし、「落語の間」と題してご講演いただきます。落語も一席ご披露いただける予定ですので、おたのしみに！